

やまぐち維新プラン

最終案の概要

「活力みなぎる山口県」の実現

～ 「3つの維新」への挑戦 ～

やまぐち維新プランの全体構成

- 第1章 はじめに**
● 策定の趣旨や性格・役割、計画期間について説明しています。
- 第2章 山口県の現状を知る**
● これまでの取組の成果、本県の人口減少の現状、山口県の強みと潜在力について説明しています。
- 第3章 県づくりの推進方向**
● 県づくりの基本目標や目指すべき将来像などについて説明しています。
- 第4章 重点的な施策の推進**
● 計画期間で重点的に推進する維新プロジェクトを示しています。
- 第5章 持続可能な行財政基盤の確立**
● 「行財政構造改革」の推進について説明しています。
- 第6章 施策の総合的な推進**
● 県政の各分野で進める施策を体系的に示しています。
- 第7章 計画の着実な推進**
● プランを着実に推進していくための進行管理の方策などについて説明しています。

第1章 はじめに

■ 策定の趣旨

「元気創出やまぐち！ 未来開拓チャレンジプラン」に基づき、様々な施策に取り組み、多くの成果を得ることができましたが、県政最大の課題である人口減少をはじめ、多くの課題が残されています。

引き続き、直面する困難に立ち向かい、活力に満ち将来に希望を持って暮らすことのできる山口県を創っていくためには、これまでの成果の上に立ち、未来への確かな道筋を描き、力強く進めていかなければなりません。

本県の「未来」を変えていく現代の「維新」を、県民の皆様とともに成し遂げていくため、**これからの県づくりの施策を戦略的・計画的に進めていくための指針**として策定します。

■ 性格と役割

プランは新たな**県政運営の指針**として、今後、県が進める政策の基本的な方向をまとめた**総合計画**であり、また、本県が目指す県づくりの方向性を、市町、関係団体、企業、県民の皆様と共有し、共に取り組んでいくための指針となるものです。

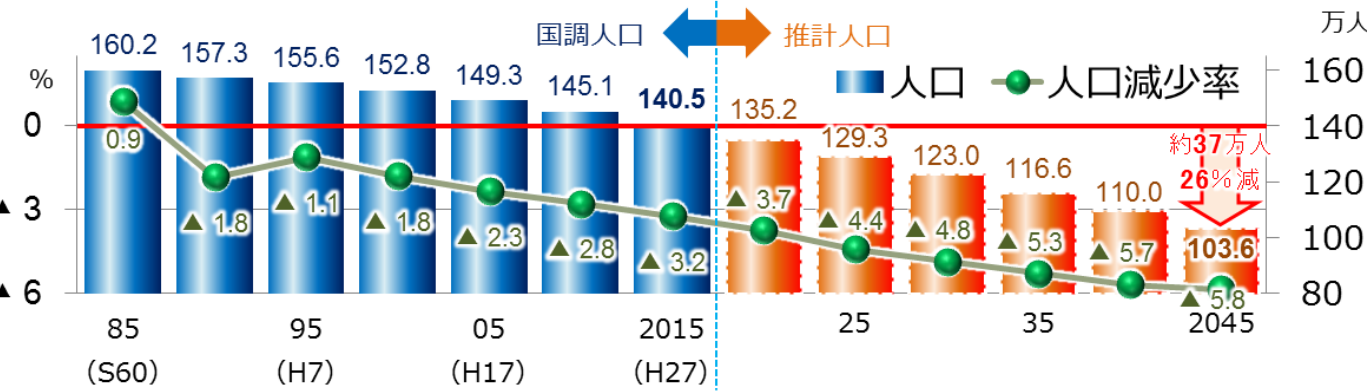
■ 計画期間

20**18**年度 ～ 20**22**年度（5年間）

第2章 山口県の現状を見る 本県の人口減少の現状①

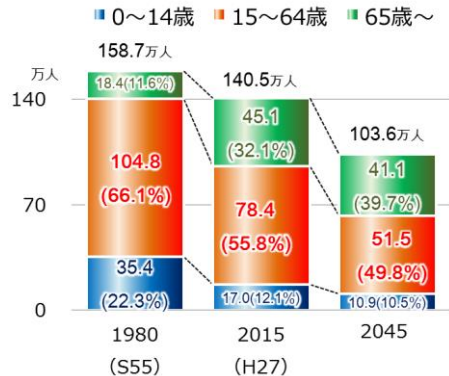
■山口県の人口の推移・推計

- ・県人口は、1985年以降減少を続け、2015年には約140万5千人まで減少
- ・人口減少は継続し、2015年から2045年までに約37万人減少する見込み



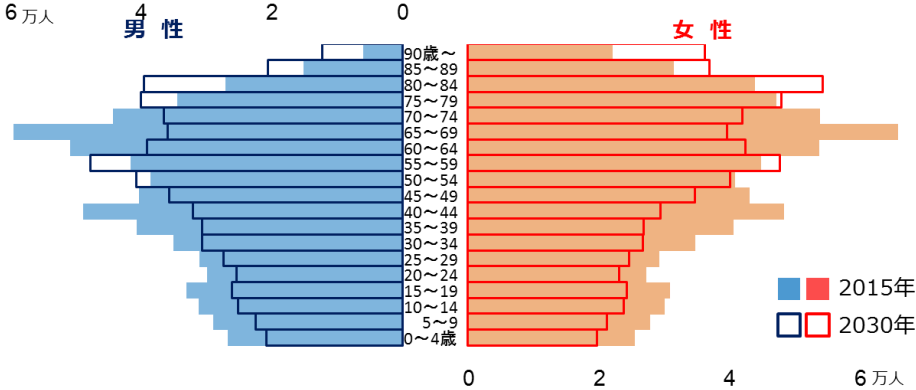
《生産年齢人口 (15~64歳)》

- ・1980年から2015年までに約26万人減少
- ・2015年から2045年までの30年間で約27万人減少見込み



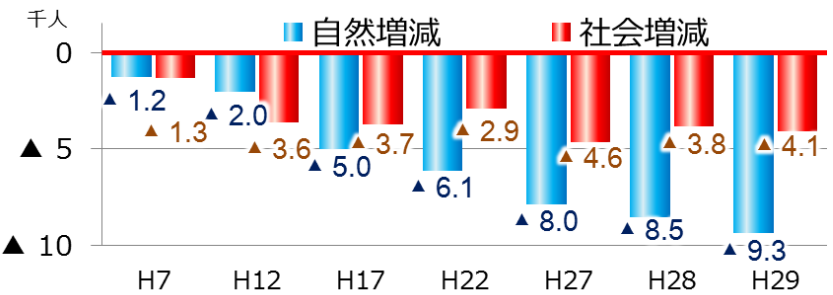
《人口構成》

- ・少子高齢化は進行し、後期高齢者は2030年にピークを迎える



《人口減少 (自然減・社会減)》

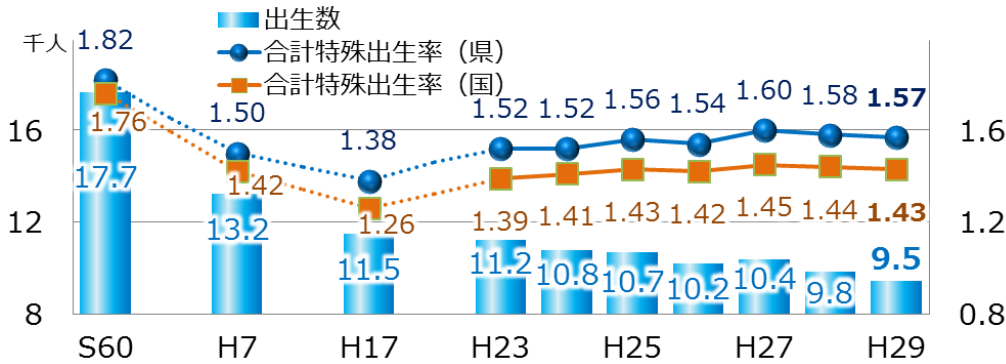
- ・自然減、社会減ともに歯止めがかからない



第2章 山口県の現状を見る **本県の人口減少の現状②**

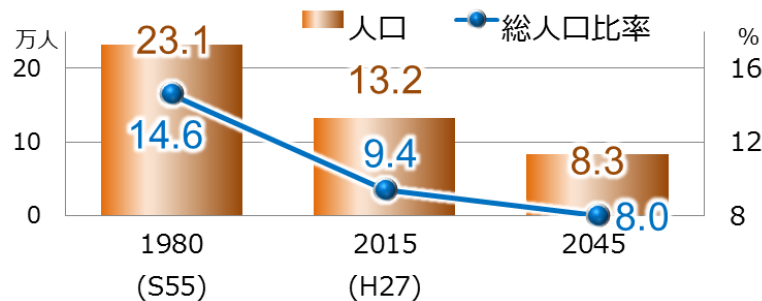
■自然減

- ・2017年の出生数は9,455人で30年間で約50%減少
- ・合計特殊出生率は1.57で、全国平均を上回るが、本県の希望出生率1.9や、人口置換水準2.07を下回っている



《20～39歳の女性人口》

- ・1980年と比べて約43%減少し、2045年にはさらに約37%減少する見込みで、全国に比べて減少幅が大きい



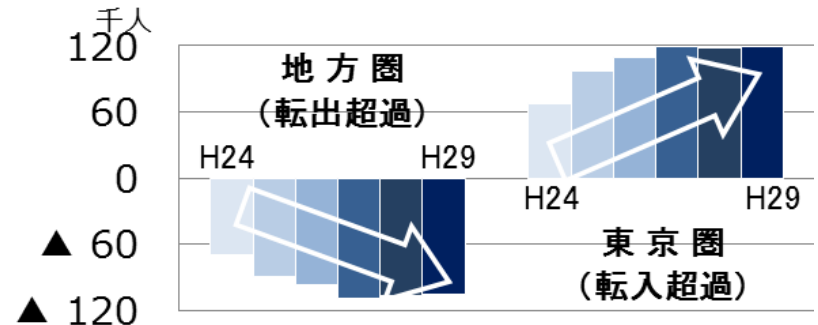
■社会減

- ・15歳から29歳の若者の県外への転出が顕著であり、特に、女性の転出が男性を上回っている



《東京一極集中に歯止めがかからない》

- ・若者を中心とした東京圏への転出が増加している
- ・本県も東京圏への転出が全体の20%を占めている

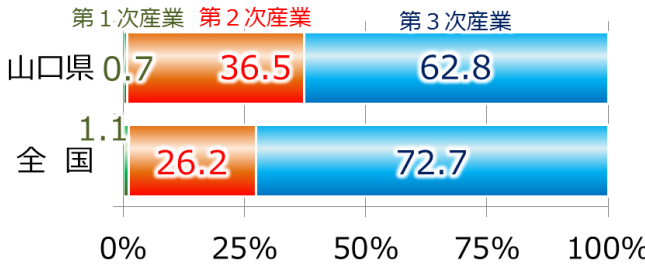




第2章 山口県の現状を見る 強みと潜在力 (産業)

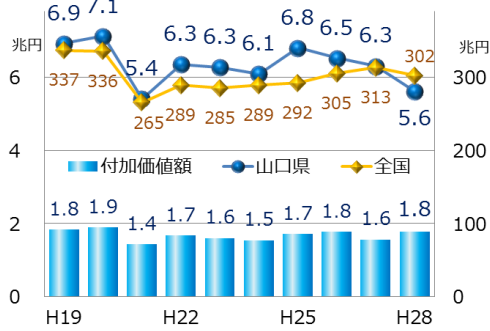
■ 県内総生産

・第2次産業の比率が全国と比べて10%高い工業県で製造業が本県経済を牽引



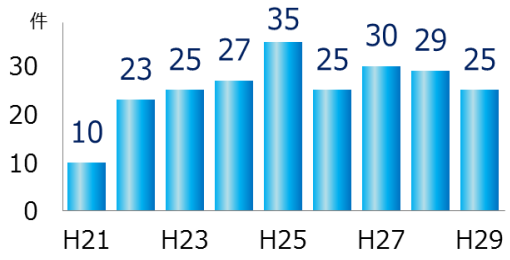
《製造品出荷額等・付加価値額》

・1事業所当たりの製造品出荷額は全国1位であり、高付加価値な部素材・製品を供給している



《企業誘致件数》

・優れた立地環境、産業インフラ、産業人材など、企業活動を強化する力を有しており、企業誘致は順調に推移している



■ 医療関連／環境・IT分野の事業化件数

・大学や企業の保有する研究・技術シーズを活かし、産学公金連携による研究開発・事業化が進んでいる

区分	H26	H27	H28	H29	計
医療関連分野	1	4	9	4	18
環境・IT分野	0	12	7	16	35
うち水素関連	0	1	2	7	10
合計	1	16	16	20	53

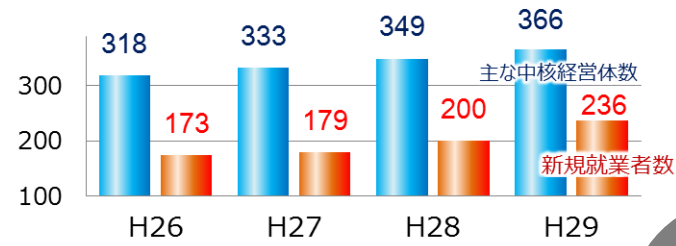
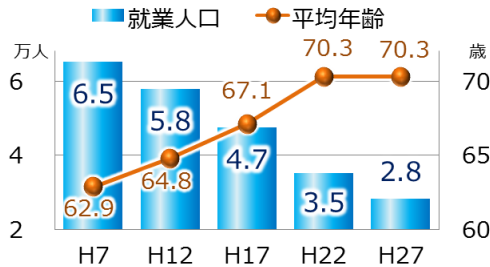
■ 農林漁業就業者

・農林漁業就業者は減少・高齢化（農業、漁業とも全国2位）しているものの、全国トップ水準の新規就業者の確保・定着に向けた支援策により、新規就業者数は増加している

■ 関係支援機関の支援による創業数

・創業数は着実に増加している

区分	H26	H27	H28	H29
創業数	181	224	236	228
うち女性創業	48	65	68	83

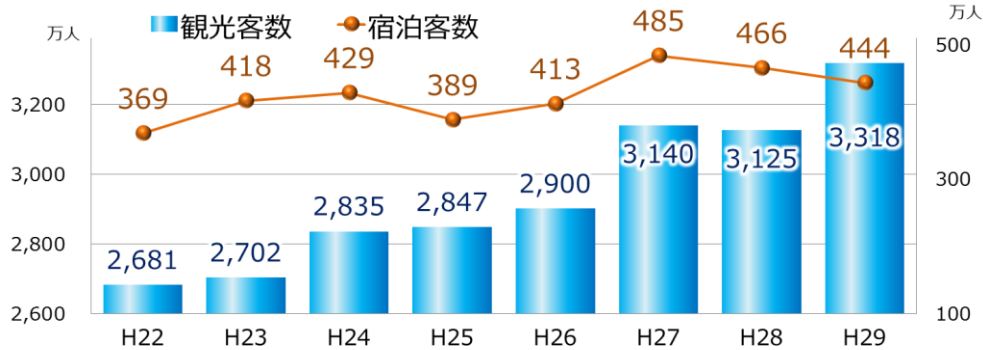


第2章 山口県の現状を見る 強みと潜在力（交流）



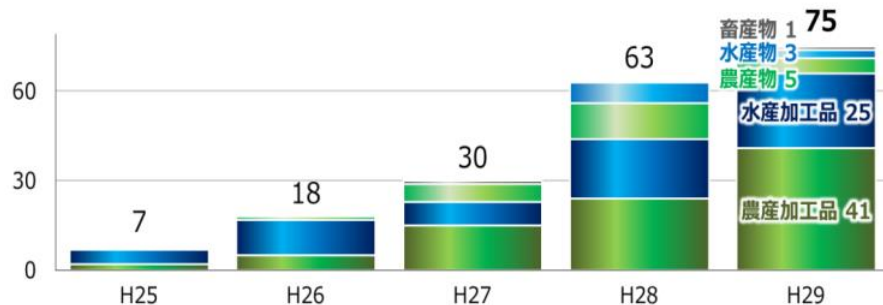
■ 観光客数・宿泊客数

- ・観光客数は3,318万人と過去最高
- ・「明治日本の産業革命遺産」の世界文化遺産登録や「明治維新150年」などを通じブランド力が高まっている
- ・「自然・景勝地・温泉」の観光資源が豊富



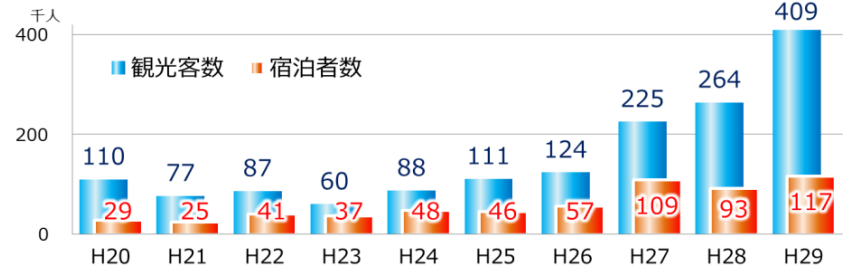
■ 県産農林水産物等の輸出商品数

- ・農林水産分野における輸出が拡大している
- 事業者は7倍、海外輸出商品数は10倍に拡大



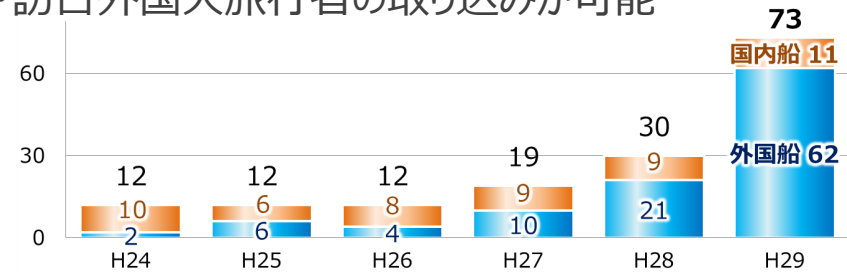
■ 外国人宿泊者と観光客

- ・東アジア地域等からの観光客が増加



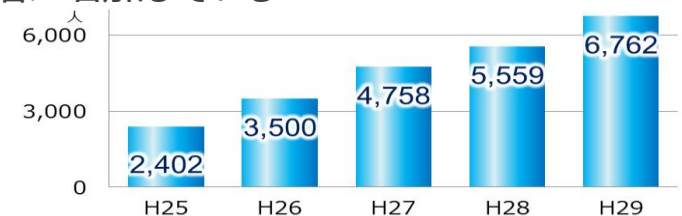
■ 県内のクルーズ船寄港回数

- ・訪日外国人旅行者の取り込みが可能



■ 山口県への移住相談件数

- ・支援体制の整備等により移住希望者の相談件数も大幅に増加している

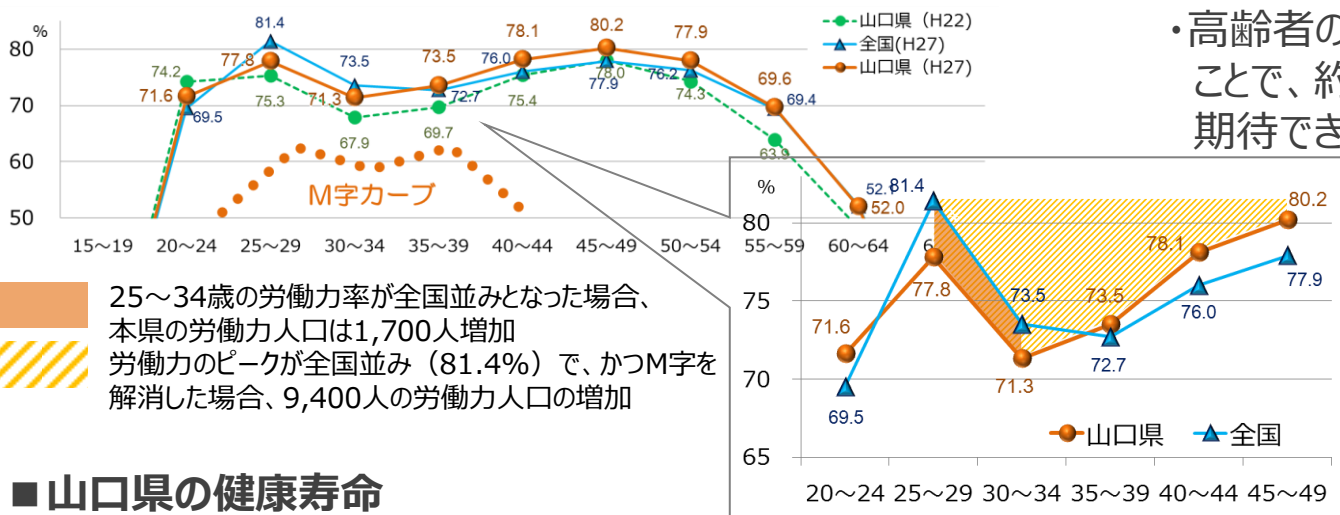




第2章 山口県の現状を見る 強みと潜在力 (生活)

■ 女性の年齢階級別労働力率

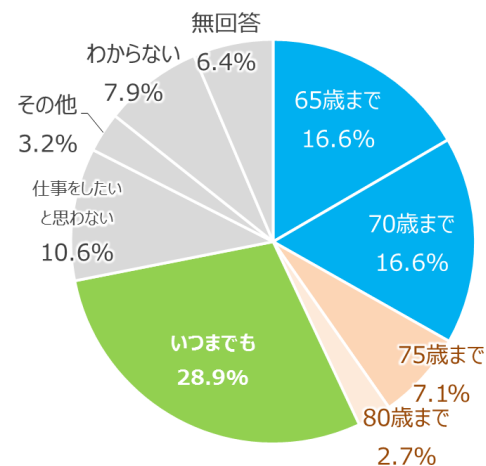
・M字カーブを解消することにより労働力の供給増加が可能



25~34歳の労働力率が全国並みとなった場合、本県の労働力人口は1,700人増加
労働力のピークが全国並み(81.4%)で、かつM字を解消した場合、9,400人の労働力人口の増加

■ 高齢者(60歳以上)に対する就業意識調査

・高齢者の就業意識が高まっている
・高齢者の労働力率を全国並みに引き上げることで、約2,500人の労働力人口の確保が期待できる



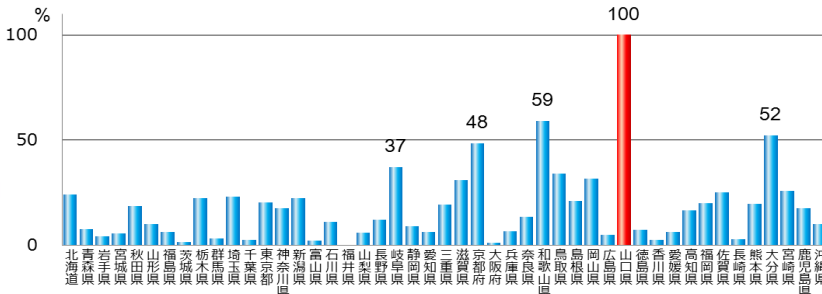
■ 山口県の健康寿命

・健康づくりを促進することにより、健康寿命の更なる延伸が可能
・健康づくりに取り組むことで、生活習慣病の発症リスクの低減が可能
・企業等を通じた働く世代への健康増進の取組の機運が高まっている



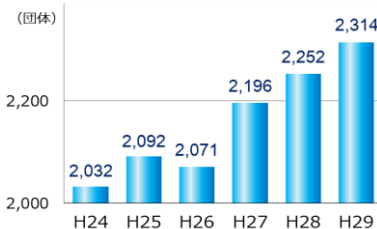
■ 全国のコミュニティ・スクールの導入率 (小・中・義務教育学校)

・導入率100%を活かし「地域教育力日本一」の取組が可能



■ 県民活動団体数

・山口ゆめ花博を契機として県民活動のさらなる拡大が期待できる



第3章 県づくりの推進方向

基本 目標

「活力みなぎる山口県」の実現

人口減少に歯止めをかけ、そして人口減少・少子高齢社会にあっても、活力に満ちた産業や活気ある地域の中で、県民誰もががはつらつと暮らせる「活力みなぎる山口県」の実現を目指します

基本方針 「3つの維新」への挑戦

産業維新

山口県の強みを最大限に活かし、山口県の活力の源となる産業力を大きく伸ばします

大交流維新

山口県の潜在力を活かし、人やモノの流れを飛躍的に拡大して、山口県を活性化させる大交流を実現していきます

生活維新

県民誰もが、希望を持って、いつまでも安心して暮らし続けられる山口県の基盤を築きます

《人口減少問題への対応》

最重要課題である人口減少を克服するためには、①人材の流出を食い止め、流入を促進するとともに、人材の定着を図る、②少子化の流れを変える、③誰もが希望を持って、安心・安全に暮らし続けられる環境をつくることが重要であり、「3つの維新」によって取組を進めていく

第4章 重点的な施策の推進 3つの維新19の維新プロジェクト 62の重点施策

産業維新

- ① 時代を勝ち抜く産業力強化
- ② 次代を切り拓く成長産業発展
- ③ 中堅・中小企業の「底力」発揮
- ④ 強い農林水産業育成

大交流維新

- ⑤ 交流を拡げる基盤整備
- ⑥ 選ばれる観光目的地やまぐち実現
- ⑦ 国内外での新たな市場開拓
- ⑧ やまぐちへの人の還流・移住・定住促進

生活維新

- ⑨ 結婚、妊娠・出産、子育て応援
- ⑩ やまぐち働き方改革推進
- ⑪ 快適な暮らしづくり推進
- ⑫ 新時代を創造する人材育成
- ⑬ 人を豊かにする環境づくり推進
- ⑭ 誰もがいきいきと輝く地域社会実現
- ⑮ 安心の医療・介護充実
- ⑯ 県民一斉健康づくり
- ⑰ 災害に強い県づくり推進
- ⑱ 暮らしの安心・安全確保
- ⑲ 人口減少社会を生き抜く地域づくり

維新プロジェクト
1

時代を勝ち抜く産業力強化

■ 強みを伸ばす産業基盤の整備

- ・ 国際バルク戦略港湾施策の推進
- ・ 工業用水の安定供給体制の強化
- ・ 山陰道や地域高規格道路をはじめとした幹線道路の整備

○ 国際競争の強化に向けたコンビナート企業間の連携促進

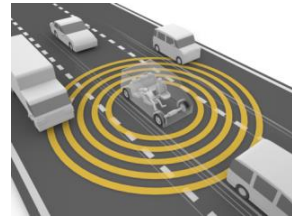
- ・ 共同物流・輸出体制の構築や原材料の融通・最適化等を行う
「次世代型コンビナート」企業間連携モデルの構築
- ・ 工場立地法に関する規制緩和や施設等の相互利活用、
防災対策強化等の促進

○ 自動車新時代に対応したイノベーションの創出

- ・ 県内自動車関連企業の将来的な事業展開や成長戦略の検討

○ 研究開発力強化・人材の育成

- ・ 技術交流プラットフォーム(R & Dラボ)の設置
- ・ 奨学金返還補助制度の活用、品質管理等の研修プログラム



■ 企業誘致の推進

- ・ 戦略的な企業立地の促進
- ・ 新たな事業用地の発掘



《成果指標》	現状値 (2017)	目標値 (2022)
● 石炭共同輸送の実施回数	7回	50回/(2018 ~2022)
● 国道・県道の整備完了延長	-	50km/(2018 ~2022)
● 緩和する主要渋滞箇所数	-	5箇所/(2018 ~2022)
● 企業誘致件数	25件	125件/(2018 ~2022)

次代を切り拓く成長産業発展

維新プロジェクト
2

■ 医療関連産業イノベーションの拡大

- ヘルスケア関連産業の創出・育成プラットフォームの構築



■ 環境・エネルギー産業イノベーションの加速

- 素材メーカーの集積を活かした素材等開発の拠点形成
- 資源循環型産業の強化



■ バイオ関連産業イノベーションの創出

- 医療関連、環境・エネルギー分野の取組を活かした研究開発の推進、事業化製品等の市場展開の促進



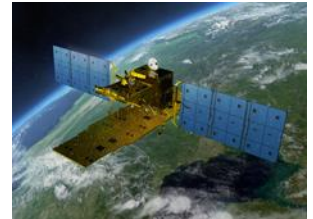
■ 全国をリードする「水素先進県」の実現

- 新たな技術開発の促進〔産業振興〕
- 水素利活用モデルの展開〔地域づくり〕
- 水素利用の拡大〔基盤づくり〕



■ やまぐち SPACE HILL構想の実現

- 「宇宙データ利用推進センター」の設置
- データサイエンティストの育成拠点の整備



■ 第4次産業革命を捉えたビジネス創出や生産性向上

- 新サービス・新事業創出や生産性向上に向けたIoT等の導入促進

《成果指標》

- 医療、環境・エネルギー、水素、バイオ関連分野の事業化件数
- 水素ステーションの設置数
- 航空機・宇宙機器産業での受注獲得金額
- 先導的プロジェクトによるIoT等導入件数
- 中小企業のIoT導入率

	現状値(2017)	目標値(2022)
医療、環境・エネルギー、水素、バイオ関連分野の事業化件数	53件	100件
水素ステーションの設置数	1箇所	8箇所
航空機・宇宙機器産業での受注獲得金額	2,000万円/(2013~2017)	10億円/(2018~2022)
先導的プロジェクトによるIoT等導入件数	—	15件
中小企業のIoT導入率	3.9% (2016)	22.0%

3 中堅・中小企業の「底力」発揮

■ 地域中核企業の創出・成長支援

- ・ 地域中核企業創出・支援カンファレンスチームの設置による、経営・技術課題解決への総合的な支援

■ 中堅・中小企業の成長支援

- ・ 企業の生産性向上と産業人材育成・確保の一体的支援
- ・ カンファレンスチームによるハンズオン支援
- ・ 人材登録制度（OB等人材バンク）の構築



■ 商業・サービス産業の誘致・成長支援

- ・ 情報を活用した新たなビジネスの創出支援
- ・ IT・コンテンツ関連企業やサテライトオフィスの誘致

■ 「創業応援県やまぐち」の深化

- ・ 多様なニーズに対応した創業支援の強化や、きめ細かな支援による女性創業支援、外国人材の創業促進

■ 持続可能な建設産業の構築

- ・ 若者・女性の確保・育成、i-Constructionの推進による生産性向上、適正な競争環境の整備



■ 成長を支える産業人材の確保・育成

- ・ 若者、女性、シニア及びプロフェッショナル人材のマッチング
- ・ 高校生・大学生等の県内就職・定着支援の強化
- ・ キャリア教育の充実、職業訓練、技能向上



《成果指標》

	現状値 (2017)	目標値 (2022)
● 地域経済牽引事業による付加価値増加額	-	191億円
● 経営革新計画目標達成件数	250件	375件
● 関係機関の支援による事業承継計画策定等数	19件	150件
	/(2013～2017)	/(2018～2022)
● 支援機関の支援による創業数	1,013件	1,100件
	/(2013～2017)	/(2018～2022)
● 支援機関の支援による女性の創業数	307件	340件
	/(2013～2017)	/(2018～2022)
● 建設産業の技術者・技能者の若年者比率	10.2% (2016)	12%以上
● インターンシップ参加学生数（年間）	885人	1,400人
● 就職決定者数（山口ごとセンター登録者）（年間）	4,126人	5,000人

強い農林水産業育成

■ 「担い手支援日本一」の更なる強化

- ・中核経営体の育成と経営基盤の強化
- ・全国トップ水準の支援策による新規就業者の確保・定着
- ・農山漁村女性リーダー・女性経営参画者の育成



■ 成長産業化に向けた生産力の増強

- ・農畜産物の結びつき強化・生産拡大
- ・ICTを活用したスマート林業の取組等木材供給力の強化
- ・「山口連携室」等との連携による漁業生産力の向上
- ・地産・地消、6次産業化・農商工連携の取組強化



■ 「農林業の知と技の拠点」の形成

- ・農林総合技術センターの試験研究部門と教育部門の統合による拠点形成

■ 先端・先進技術の研究開発・実用化の推進

- ・スマート農機等の導入など生産性向上に向けた先端技術活用等の研究・普及促進
- ・ドローンや地上レーザー等の計測技術を活用した効率的な木材供給システムの開発
- ・研究機関、大学、漁業団体等と連携した漁業生産性向上技術の開発・導入促進



《成果指標》

	現状値(2017)	目標値(2022)
● 中核経営体数	530	649
● 農林漁業新規就業者数	788人/(2014～2017)	1,100人/(2018～2022)
● 経営体において経営参画した女性数	229人	269人
● 酒米生産量	663 t	750 t
● 県産木材供給量 (年間)	27.6万m ³	30.0万m ³
● 基幹漁業の新興件数	0件	2件
● J G A P 認証件数	12件	30件
● 生産性向上に資する研究成果件数	0件	10件/(2018～2022)
● 鳥獣による農林業被害額 (年間)	4.7億円	3億円

交流を拡げる基盤整備

■ 交流を活発化する交通ネットワークの機能強化

- ・ 国際定期便の通年化、国際チャーター便の運航拡大、空港への交通アクセスの改善、広域観光ルートの形成、団体旅行の開拓、総合案内機能の充実などによる県内2空港の交流拠点化の推進
- ・ 交通拠点から観光地を結ぶ二次交通の充実、交通系ICカードやバスロケーションシステム等の導入促進



■ 広域的な交通インフラの整備

- ・ 移動時間の短縮、周遊ルートの形成に資する幹線道路の整備の推進
- ・ 「道の駅」のトイレの洋式化や情報発信環境の整備、観光地周辺の歩行空間整備や景観に配慮した道路整備の推進



■ 国際交流の推進

- ・ 友好・姉妹提携先（山東省、慶尚南道、ナバラ州）との交流の拡大や、新たな地域（ビンズン省、クラスノダール地方）との積極的な交流の推進
- ・ 多文化共生による地域づくりの推進



《成果指標》

	現状値 (2017)	目標値 (2022)
● 山口宇部空港の年間利用者数	98.8万人	105万人
国際便利用者数	2.2万人	5万人
● 岩国錦帯橋空港の年間利用者数	50.3万人	52万人

選ばれる観光目的地やまぐち実現

■ 「明治維新150年」を契機とする「やまぐちDMO」による観光力の強化

- ・ 「維新ブランド」の発展、「やまぐちDMO」による魅力ある観光地域づくりと新たなプロモーション
- ・ 観光客の心をつかむ付加価値の高い商品・サービスの開発

■ 誘客拡大に向けた観光・交流施策の一体的推進

- ・ 「サイクル県やまぐち」を通じた交流の促進
- ・ スポーツの力を活用した交流促進施策の展開
- ・ 美術館等を核とした文化施策による交流の促進
- ・ MICE誘致による交流人口の拡大



■ 東京オリンピック・パラリンピック等を契機とするインバウンドの拡大

- ・ 世界に向けた誘客対策の強化と受入環境の充実・クルーズ船の誘致推進
- ・ キャンプ地誘致やホストタウン登録による交流施策の展開



《成果指標》

	現状値(2017)	目標値(2022)
● 観光客数（年間）	3,318万人	3,400万人以上
● 延べ宿泊者数（年間）	444万人	550万人以上
● サイクルイベント参加者数（年間）	9,600人	3万人
● 県立美術館の入館者数	24万人(2013～2017平均)	25万人以上(2018～2022平均)
● 外国人延べ宿泊者数（年間）	11.7万人	20万人以上
● クルーズ船寄港回数（累計）	146回(2013～2017)	400回(2018～2022)